

# 令和5年度 第11回全体庁議（11月2日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(3) 帯広圏デジタル化推進構想（原案）について[総務部]
----	-------	--------------	-------------------------------

## ■ 提案・報告の趣旨

帯広圏デジタル化推進構想の策定に向けて、アドバイザーレポートの意見等を踏まえ、原案を取りまとめたことから、令和5年11月21日に開催される総務委員会に報告するもの。

## ■ 提案・報告の主な内容(概要)

### 1 はじめに

本構想は、帯広圏1市3町における地理的一体性や規模感を活かし、共通の方向性のもとでの効果的なデジタル化の推進により、活力ある地域づくりに資するために、基本的な考え方をまとめたもの。

### 2 帯広圏の特性と圏域で取り組む意義

- (1)生活圏としての一体性と一定の規模感
- (2)広域都市圏としてのポテンシャル
- (3)国の計画等における地域間連携や地域生活圏

### 3 構想の位置づけ及び構想期間

本構想は、帯広圏1市3町が、デジタル化の基本的な考え方や方向性を整理し、共有するものであり、各自治体における総合計画、総合戦略等の既存の計画との関係については、自治体ごとの実情に即して整理する。構想の期間は、令和6年度から概ね5年程度とし、必要に応じて見直しを行う。

### 4 基本的な考え方

以下の2つを基本戦略とする

- i)ローカルハブ～地域の活力向上につながるデジタル化～
- ii)ウェルビーイング エリア～住民の幸せにつながるデジタル化～

また、ローカルハブの「食」、ウェルビーイング エリアの「健康」を結び付けた象徴的ビジョンとして以下をキャッチフレーズとする。

『DXで拓く「食と健康」の世界的拠点“帯広圏”』

### 5 推進手法

- (1)圏域内外での好事例の横展開を進める
- (2)スモールスタートで、できるところから始める
- (3)デジタルに慣れ親しんだ世代から広げていく

### 6 基本戦略に基づく施策

#### (1)ウェルビーイング エリアに関する施策

- ・公共サービスを中心に、住民の利便性向上や行政の効率化が見込まれる分野を中心に取り組んでいく。

#### (2)ローカルハブに関する施策

- ・施策の柱として、「自立力」「連携力」「創造力」「求心力」の4項目を設定し、中長期的な取組として、民間との協働・協創を基本として取り組んでいく。

## ■ 今後のスケジュール

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| ・ 令和5年11月21日        | 総務委員会へ原案を報告               |
| ・ 令和5年11月27日～12月26日 | パブリックコメント                 |
| ・ 令和6年2月            | 総務委員会へパブリックコメント結果及び最終案を報告 |
| ・ 令和6年3月            | 構想策定                      |

## ■ 審議結果

・ 原案は、同日午後開催される帯広圏デジタル化推進協議会で決定後、11月21日開催の総務委員会へ報告することで了承された。

## ■ その他、指摘事項等

・ 特になし。